津波発生に関する情報について

気象庁は、上越市を含む地域に津波の発生が予想される場合、地震が発生してから約３分で**緊急情報**（**大津波警報**・**津波警報**・**津波注意報**）を発表します。

緊急情報は、Ｊアラート※により防災行政無線や防災ラジオ、戸別受信機のほか、携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）などで伝えられます。

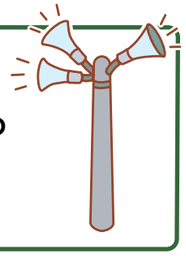
この緊急情報をもって、市からの避難指示の発令となります。

避難指示の発令

津波発生時は、市が避難指示を発令する時間的猶予がありません。

この緊急情報（大津波警報・津波警報・津波注意報）をもって、市からの避難指示の発令となります。

情報が放送されたときは、身の安全を確保して落ち着いて行動しましょう。



※Ｊアラートとは、弾道ミサイル攻撃に関する情報や緊急地震速報、津波警報、気象特別警報などの緊急情報を、瞬時に皆さんに情報伝達するシステムです。

緊急情報の種類	予想される津波の高さ		想定される被害	命を守る行動
	数字での発表	巨大地震の場合の表現		
大津波警報（特別警報）	10m超（10m～）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。	沿岸部や川沿いにいる人は、すぐに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難しましょう。
	10m（5～10m）			
	5m（3～5m）			
津波警報	3m（1～3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	
津波注意報	1m（0.2～1m）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、小型船舶が転覆します。	海の中にいる人と海岸にいる人は、すぐに海岸から離れ、高く安全な場所を目指しましょう。

津波警報・注意報の種類（気象庁25年3月）を参考に作成

命を守る行動

大津波警報 **津波警報**

居住地への津波の到達が想定されます。沿岸部の地域の皆さんは、高台や指定緊急避難場所など安全な場所へ避難しましょう。

津波注意報

居住地への津波の到達が想定されませんが、海の中にいる人や海岸付近にいる人は、すぐにその場から離れましょう。

地震・津波発生時にとるべき避難行動



❗身の安全の確保

身近にあるもので頭を保護し、安全な場所で身を守る。

【安全な場所の例】
- **物が落ちてこない場所**
- **家具などが倒れてこない場所**



倒れそうなものを支えに行かない。

❗揺れが収まったら次の行動へ

強い揺れを感じたときは、津波警報等の有無に関わらず、速やかに高い場所を目指して避難する。

【避難する際は】
- **火元の確認**
- **家族の安否を確認**
- **隣近所への声がけ**

❗津波警報等が解除されたら高台や津波避難ビルから、指定避難所や自宅へ移動する

津波警報等が解除されるまでは、津波が到達するおそれがあることに注意する。

- **余震に注意**



地域ごとの避難対応

想定される津波の影響及び有効な避難対応の確認（40 ページ参照）

地域によって避難対応が異なります。お住まいの地域の特徴と有効な避難対応を確認しましょう。

避難時の心得

なるべく徒歩で避難！



自動車での避難は道路の渋滞に巻き込まれるおそれがあるため、可能な限り徒歩で避難しましょう。

川沿いは避けて避難！



津波には川の河口から上流に向かって逆流する力があります。河口から離れた地域でも川沿いを避けるようにしましょう。

間に合わない場合は頑丈な建物へ避難！



避難が間に合わないと判断した場合は、頑丈な建物のできるだけ高い階まで逃げましょう。

平常時の備え

避難場所・避難経路の検討

あらかじめ避難場所や避難経路、避難にかかる時間を確認しましょう。
避難できる高い建物の場所なども確認しましょう。

非常持出品の確保（42 ページ参照）

すぐに持ち出せる場所に保管しましょう。
３日間は自力で避難生活ができるよう準備しておきましょう。